

群馬大学医学部附属病院

# 群大病院だより

GUNDAI NEWSLETTER

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39-15 / TEL 027-220-7111(代) / ホームページ <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

## 「対話で深める 患者参加の医療安全」 医療安全週間を開催しました



医療の質・安全管理部長 田中 和美

群馬大学医学部附属病院は、安全・納得・信頼の医療を提供することを基本方針とし、日々努力しています。すべての職員が患者安全を第一に考え、より安全安心な医療の提供を患者さんやご家族とともに進めていくことを年に一度しっかり確認し、より意識を高めるために、WHOが定める「世界患者安全の日」である9月17日にあわせて、医療安全週間を毎年開催しています。2023年の世界患者安全の日のテーマは「患者参加型医療の促進」でしたので、当院でも今年度は「対話で深める患者参加の医療安全」をテーマとして9月11日(月)から9月15日(金)に開催しました。

初日には「誓いのつどい」を開催し、「世界患者安全の日」のテーマカラーであるオレンジの花があしらわれた「誓いの碑」の前で、集まった職員で碑文を読み上げ、医療事故を教訓とし、決して風化させないこと、医療の質と安全の向上のために最善を尽くすことを、再確認しました。

期間中、各部署における医療安全の取り組みを示したポスターや、各部署および職員個人が考えた医療安全に関する標語を外来棟1階の廊下に掲示し、来院者による投票も行いました。また、医療安全週間に先駆けて、患者さん・市民の皆さまの医

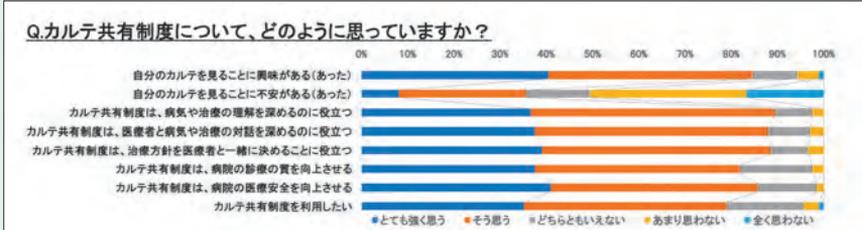


図1 患者参加型医療に関するアンケートよりカルテ共有について

療への参加に関するアンケート調査を実施しました。医療への参加には様々なかたちがありますが、8割の方が、ご自身の治療に向き合うための行動を通して参加したいと考えていることがわかりました。当院には、ご自身の診療記録(カルテ)を閲覧し、病状や経過を確認しながら治療を進める「カルテ共有」制度があります。この制度に関する項目では、8割以上の方が、ご自身のカルテを見ることに興味があり、また、病気や治療への理解を深めるだけでなく、医療者との対話を深めるのにも役立つと回答しました(図1)。今後も様々な取り組みを通して、患者参加型医療を推進していきたいと思えます。

ポスター・標語やアンケート結果の詳細は、当院医療の質・安全管理部のウェブサイトに掲載していますので、ぜひご覧ください。

## もくじ

- 「対話で深める 患者参加の医療安全」医療安全週間を開催しました … 1 ページ
- 2023年9月から紹介受診重点医療機関に認定されました! … 2 ページ
- 大規模災害発生時の多数傷病者受入訓練を実施しました … 2 ページ
- 患者支援センターからのお知らせ … 3 ページ
- 群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座の開催報告  
就労支援に関する出張相談
- 病院探検! 「薬剤部」 … 4 ページ
- 「誓いのつどい」を開催しました … 4 ページ
- 「入院セット」の導入について … 4 ページ

### あなたが主役!!

～患者参加型カンファレンス～

糖尿病の経過と治療について説明します。

糖尿病に対する気持ちや生活リズムについて説明します。

患者さん

自分の食事内容を聞いてアドバイスします。

薬の内容と使い方について説明します。

概要：毎週水曜日16時～16時30分  
糖尿病の経過と退院後の方向性について入院患者さんを変えて多職種で話し合っています。

★参加した患者さんにアンケートを実施しました★

#### カンファレンスへの期待

強く期待	6%
少し期待	18%
どちらでもない	41%
ほとんど期待なし	35%
全く期待なし	0%

#### カンファレンスの満足度

とても満足	24%
やや満足	76%
どちらでもない	0%
やや不満足	0%
とても不満足	0%

●参加した患者さんの言葉●

自分の糖尿病の合併症や生活の注意事項が分かって良かった。

たくさんスタッフがいって勉強しました。

**南9階スタッフは患者参加型医療を推進します!**

カンファレンスに参加して治療へのモチベーションが上がった。

今年度の最優秀ポスター  
(内分泌糖尿病内科・南病棟9階)

## 2023年9月から紹介受診重点医療機関に認定されました！

当院は2023年9月1日付けで「紹介受診重点医療機関」の指定を受けました。紹介受診重点医療機関は、かかりつけ医などからの紹介状を持って受診いただくことに重点をおいた医療機関です。具体的には、手術・処置や化学療法等を必要とする外来、放射線治療等の高額な医療機器・設備を必要とする外来などを行うことと、厚労省では定義しています。

このため、当院に受診されている患者さんで、**検査や手術等が終了した場合**や、**状態が落ち着いた患者さん**には、紹介元の先生など地域のかかりつけ医機能を担う医療機関へ紹介する「逆紹介」をより積極的に推進することが求められていますのでご協力をお願いいたします。



## 大規模災害発生時の多数傷病者受入訓練を実施しました

総務課

当院は、災害による重篤患者の救命医療等の高度診療機能を有し、被災地からの患者受入、広域医療搬送に関わる対応等を行う「災害拠点病院」に指定されています。2023年12月3日、教職員の防災意識を高め、病院の受入態勢の強化を図ることを目的として、大規模災害発生時多数傷病者受入訓練を実施しました。前回訓練の2倍以上に医師を増員し、傷病者役として学生ボランティアも参加して近年では最大規模となりました。想



定として南海トラフ地震が発生して震度5強を観測し、複数の被災地域から負傷者らの受入要請が寄せられた状況で行い、医師・看護師・医療職スタッフ・事務職員らが被災者の治療や刻々と変化する状況への対応等の連携を確認しました。今回の訓練結果は、当院災害マニュアルに反映させ、災害拠点病院としての機能強化により一層取り組んでいきたいと考えております。

## 患者支援センターからのお知らせ

### 群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会 ・市民講座の開催報告

「群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座」につきまして、今年度は、群馬大学大学院医学系研究科 総合外科学講座 肝胆膵外科学分野 教授 調憲先生から「知っておきたい肝がんの最新治療」、群馬県立県民健康科学大学 看護学部 教授 狩野太郎先生から「がん化学療法に伴う味覚変化の特徴と対処のポイント」と2講演の動画を配信いたしました。配信期間は令和5年11月30日をもって終了となりましたが、昨年度同様多くの皆様にご視聴いただき、ありがとうございました。

## 就労支援に関する出張相談

就労に関する相談（難病等対象外あり）は下記の日程で出張相談を利用できます。

**相談無料・予約優先**です。



- **群馬産業保健総合支援センター**  
（原則：毎月第2水曜日 10:00-13:00 担当：社会保険労務士）
- **ハローワークまえばし**  
（原則：毎月第3水曜日 10:00-15:00 担当：就職支援ナビゲーター）

病院探検！「薬剤部」



有効で安全な薬物療法の推進

薬剤部は、患者の薬物療法の最適化を目標に、薬物治療の管理や副作用のモニタリングを担当し、薬物動態解析に基づく治療設計を行っています。また、安全で適切な薬物療法を提供するために、医薬品の品質保証・管理・供給を担当しています。個々の患者の状態に合わせて特殊な調剤や院内製剤の調製も行います。医学生・薬学生に対する教育、薬物治療適正化に関する研究も行い、医療安全の向上や薬剤療法の最適化に寄与します。



注射薬の混合調製

「誓いのつどい」を開催しました



このたび当院では、平成26年6月に判明した腹腔鏡手術等の医療事故の教訓を決して風化させないため、「誓いの碑」を設置し（令和2年6月）、再発防止への誓いを新たにすため、令和5年9月11日（月）、セレモニー「誓いのつどい」を開催しました。



これからも、医療の質・安全の向上のために最善を尽くしてまいります。

「入院セット」の導入について

看護部

当院では2023年10月1日に、入院生活に必要な衣類・タオル・紙おむつ・日用品等を専門業者より1日単位の定額でレンタルできる「入院セット」サービスを導入いたしました。このサービスを利用することにより患者さんは手ぶらで入院し、入院中は常に清潔な病衣や紙おむつ等を不足なく利用することができます。またご家族が衣類の洗濯や、紙おむつ・日用品等を購入して病院に届けることも不要となり、負担を軽減することもできます。



**<受付窓口>**

【受付時間】  
平日・土曜日 8:30~17:00  
※日曜日・祝日休み

【場所】  
入院セット受付窓口（南病棟1階食堂隣）

外来棟1階に入院セット専用の説明窓口がありますので、お気軽にお立ち寄りください。

群馬大学医学部附属病院「群大病院だより」

第16号 2024年3月

編集 ■ 群大病院だより編集委員会

発行 ■ 群馬大学医学部附属病院

発行日 ■ 2024年3月11日

ホームページ ■ <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

病院の理念

大学病院としての使命を全うし、国民の健康と生活を守る。

基本方針

安全・納得・信頼の医療を提供する。  
次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。  
明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。  
医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。